令和５年度 事業計画
【 特別養護老人ホーム 上牧の郷 】

＜数値目標＞

1. 実稼働率 98%を目指す
   ① ご利用者様の体調管理を徹底することで、体調変化になるべく早く気づき、早期に適切な医療機関につなげ、重度化（入院）を予防する
   ② 早期の退院を促進するため、定期的に病院やご家族と連携してご利用者様の状況把握に努め、退院時の支援体制をとる
2. 職員定着率 90%を目指す
3. 職員一人当たり、１月に１件ヒヤリハットを提出する

＜行動目標＞

1. その人らしい生活を支援するため、ユニットケアに取り組む（土台作り）
   ① ユニットケアを学ぶ
      ・ ユニットリーダー研修の受講者拡大に取り組む
      ・ 複数のユニットケア研修施設を見学して学ぶ
   ② ユニットケア方針を作成し、周知する
      ・ ユニットケア推進チームを結成し、推し進める
      ・ ユニットケア方針の職員研修を実施し、全職員に理解してもらう
   ③ 実現に向けた運用を始める
      ・ 介助技術の向上など介護人材の育成に取り組み、ケアの統一化を進める
      ・ 個別ケアに取り組み、入居者への関りを増やす
      ・ ２４Ｈシートを活用し、その人らしい生活を支援する

2. 経費削減に取り組む
   ① ＤＸ化と介護人材の技術力向上、ケアの統一化を進め、適正な人員配置に取り組む
   ② エアコンや乾燥機などの適切な使用に努め、経費削減に取り組む

3. 10 周年に向けてオープンな特養を目指す

① （2023 年）家族参加型イベントへの取り組み

- 誕生日、喫茶店、BBQ（ユニット単位）、自宅前での写真撮影、墓参りなど
- SNS 等を活用し、特養の日々・行事・研修等を発信する

② （2024 年）地域に向けた取り組み「地域の老若男女が集う場所」を目指す

- 入居者の体力の減退が大きいため、「やって来る」環境を作る

人が「やって来る」

季節が「やって来る」

楽しみが「やって来る」

を作りだす

施設前の駐車スペースを有効活用して、地域の方々に来ていただく 中高校生の吹奏楽 チアダンス ちびっこダンス 移動式動物園や遊園地 フリーマーケット　　など

令和５年度 事業計画
【 グループホーム 上牧の郷 】

＜数値目標＞

1. 実稼働率９９．０％を目指す
2. 職員定着率１００％を目指す
3. 職員一人当たり１月に１件、見過ごしているヒヤリハットに気づく

＜行動目標＞

1. 認知症介護のプロとして、全職員が標準的な認知症ケアを行えるようにする
   ① 認知症の理解を深め、対応力を向上させるために、内部研修の充実と外部研修へ積極的に参加できる環境を作る
   ② ご利用者様お一人お一人の理解を深めるために、居室担当を中心に月に一度のケアカンファレンスを行ない、ケアの統一に取り組む
   ③ クレドを根本に置いて、常に笑顔で、ご利用者様への尊敬の念と感謝の言葉を忘れず、利用者様に寄り添い、丁寧で優しいケア、安心していただける空間づくりに取り組む
2. ご利用者様が生きてて良かったと思える、楽しみのある生活に取り組む
   ① ご利用者様が食べたい物が食べられる楽しい食レクに積極的に取り組む
   ② 安全を確保しながらの外出レクに積極的に取り組み、希望されることを実現できるよう取り組む
   ③ ご利用者様お一人お一人に役割を設け、日々の楽しみ、生きがいを感じていただけるよう取り組む
3. 職員同士が家族のように助け合う暖かい空間づくりを目指す
   ① ご利用者様のために、言いにくいことでも何でも言い合える関係を築く
   ② お互いに感謝と尊敬の気持ちを忘れず、信頼関係を築く
   ③ 報・連・相を徹底し、何が出来るかを考え、否定せず、協力できる関係を築く

令和５年度 事業計画
【 看護付小規模多機能ホーム 上牧の郷 】

＜数値目標＞

1. 登録率 １００％を目指す
   ① 病院や他事業所との連携を強化するための情報を発信していく
   ② ご利用者様の体調管理を徹底することで、体調変化になるべく早く気づき、早期に適切な医療機関につなげ、重度化（入院）を予防する
   ③ 早期の退院を促進するため、定期的に病院やご家族と連携してご利用者様の状況把握に努め、退院時の支援体制をとることで在宅生活への不安を解消する
2. 職員定着率８０％を目指す
   ① 看護小規模多機能ホームでの看護師の役割に応じた研修を行い、育成する
   ② 介護職と看護職が互いに尊重し合い、協力し合える関係を構築する
3. １ヶ月に一人１件の見過ごしているヒヤリハットに気付く

＜行動目標＞

1. より良いサービス提供のため、職員全体のチームワークの構築を図る
   ① お互いに感謝と尊敬を忘れず「ありがとう」という言葉で表す
   ② ご利用者様のために何が出来るかを常に考え、新しいアイデアについて否定をせず、互いに協力をし、チャレンジを怖れない
   ③ 医療と介護の複合サービスの使命を全うすべく、すべての職員が力を合わせる
2. ご利用者様の笑顔のために、良いと思えることには何にでもチャレンジしていく
   ① ご利用者様のこれまでの人生の情報収集に努め、その方を知ることで、より良い個別ケアに取り組む
   ② 昨年度取り組んできたハッピーランチやどっこいしょ体操(機能訓練)をより一層ブラッシュアップし、継続していく
3. 職員一人一人の資質向上を図り、ご利用者様へ最高のサービスを提供する
   ① 職員一人一人が自分の課題を認識し、目標に向かって取り組めるよう支援する
   ② 新入職員に対して教育目標を組み、新人研修など最適な学べる環境を構築する
4. 節電や経費節減、業務改善に取り組む
   ① 職員一人一人が節電、経費節減の意識を持つ
   ② 業務効率を上げるために ICT 化に取り組む

令和５年度 事業計画
【 上牧の郷デイサービスセンター 】

＜数値目標＞

1. 利用稼働率 平均85%を目指す
   ① 利用終了者による利用者枠に空きが生じても直ぐに新規利用者を獲得出来るように待機者を抱える
   ② 通院やショート等による空き枠を計画的に臨時利用に組み合わせる
   ③ 事業者内での感染等の拡大による閉鎖や休業を防止する
2. 職員定着率１００%を目指す
3. 職員１人１か月に１件見過ごしているヒヤリハットに気づく
4. ご利用者様一人一人を深く理解するため、月１回の事例検討会を開催し、症状に適したより良いケアを目指し職員誰もが同じケアができるよう情報の共有を図る

＜行動目標＞

1. ご利用者様・ご家族様に選ばれるデイサービスを目指す
   ① 地域 Ｎｏ.１の明るく笑顔あふれるデイサービスにする
   ② インスタグラム等を活用し、家族様にデイサービスの様子を発信していく
   ③ 音楽活動等の様子を、インスタグラムやその他の媒体を用いて積極的に発信し、上牧の郷デイサースを一般の方を含め広く知ってもらうように努める
2. 笑顔で明るい対応を徹底し、ご利用者様・ご家族様との信頼関係を深めていく
   ① 毎日の笑顔の写真等ご家族様やケアマネへの情報発信に力を入れる
   ② クリスマスコンサート等ご家族様に日々の関わりを観ていただく機会を確保する
   ③ 全職員が質の高い認知症ケアを提供し、ご利用者様お一人お一人に合った柔軟な対応へとつなげる
3. 職員一人一人の目標を明確にし、ケアの質の向上を目指す
   ① 目標管理シートを各個人が記入し、日ごろから目標を意識してもらう
   ② 進捗状況を確認するために、年２回の個人面談を行う

４．無駄を省き、経費削減に取り組む
   ① エアコンの温度管理等を行い、できる限り節電に協力する
   ② 設備等を丁寧に扱い、破損等を防止し、長く大切に使用する